



平成 29 年度 当初予算案 審査報告



審査の流れ

① 質疑

各議員が、議案の賛成・反対の判断を行うときの参考とするために、個別の事業等の疑問点を確認する目的で市に質問します。

② 総括的質疑

「① 質疑」とは別に、② 総括的質疑は政策的な広い視点で市の考えを確認する目的で質問します。

③ 討論

各議員が、賛成・反対の意思を表明することです。また、論点をはっきりさせて説明責任を果たし、自分の考えへの賛同者を募る目的で行います。

④ 採決

①～③の質疑・討論を参考に、各議員が最終的な判断を表明し「可決か否決」を多数決で決めるために行います。

一般会計 178 億 6 千万円・特別会計 112 億 1 千万円 総額 290 億 7 千万円の 29 年度当初予算案を『可決』

29 年度当初予算案は、3 月 8 日、9 日、10 日、13 日、16 日の 5 日間に渡り審査を行いました。

審査の結果、一般会計 178 億 6 千万円、特別会計 112 億 1 千万円、総額 290 億 7 千万円の 29 年度当初予算案を採決し、可決しました。

今回、議会では審査に際し事前に協議を行い、議会報告会などで出された意見を参考に着目すべき市の課題を抽出し、その課題の解決に向けた視点を十分に踏まえて審査しました。どのような視点・内容で審査等したのかを詳しくお知らせします。

① 質疑・歳入

問 28 年と比較して、市民税の個人分が増加したのが内訳は。

答 給与所得 567 億円、2・6%の増、事業所得が 31 億円、専業農家の所得が 3 億 1 千万円と見込んでいます。

問 滞納繰越分の解消に向けた考えは。

答 徹底した調査と適正な滞納処分に対応している。28 年度の処分実績は、預貯金の差し押さえで 500 件あった。

問 創生事業をどのように見込んでいるのか。

答 「地域の元気づくり創生事業」「人口減少特別対策」に 3 億円弱を見込んでいる。

問 児童運営費の滞納繰越分の減額の要因は。

答 27、28 年度の収納率

問 28 年と比較して、市民税の個人分が増加したのが内訳は。

答 給与所得 567 億円、2・6%の増、事業所得が 31 億円、専業農家の所得が 3 億 1 千万円と見込んでいます。

問 滞納繰越分の解消に向けた考えは。

答 徹底した調査と適正な滞納処分に対応している。28 年度の処分実績は、預貯金の差し押さえで 500 件あった。

問 創生事業をどのように見込んでいるのか。

答 「地域の元気づくり創生事業」「人口減少特別対策」に 3 億円弱を見込んでいる。

問 児童運営費の滞納繰越分の減額の要因は。

答 27、28 年度の収納率

問 陸上競技場の活用は。

答 サッカーの設備は整っており、今後ラグビーの設備整備なども考えている。トラックの全天候型整備は考えていない。

問 臨時財政対策債は今後も続くのか。

答 国の動向次第と考える。

① 質疑・歳出

問 情報システムの管理運用や経費は適正か。

答 管理運営は適正。経費も経営的経費やハードの更新経費。また、マイナンバー制度を活用し、さらに市民サービスの向上に努める。

問 児童生徒の安全安心な教育環境づくりと学校施設等の整備は十分か。

答 安全安心な教育環境を最優先に整備。相談体制は児童に合わせた対応。学力は児童の能力に合った指導を心がけ、さらなる向上をめざす。

問 教育委員会の関係施設の管理運営と経費は適正か。

答 引き続き経費削減に努め、適正な管理を行う。

問 地域自治活動への支援は、市が進める地域づくりと市民ニーズの間に乖離があるのでは。

答 また自治活動への参加意識を高める方法は、支援を引き続き行い、市民ニーズを把握し寄り添う事業を進める。さらに地域づくりの輪を広げる試みを検討する。

問 健康福祉問題、待機児童問題、保育所の待機児童対策は。

答 解消に向けた直接的な事業として、新規の保育所設置は難しい状況。また自治活動への参加意識を高める方法は、支援を引き続き行い、市民ニーズを把握し寄り添う事業を進める。さらに地域づくりの輪を広げる試みを検討する。

問 経済産業部、農業、経営指導マネージャー設置事業の指導効果は。

答 認定農業者数およそ 200 戸の営農指導及び確定申告等の相談指導にあたっている。マネージャーの確保に苦慮している。

問 都市整備部、市道を維持・補修するための予算額が少ないのでは。

答 市民の要望は多く、現実的に足りない。補修を待つのももっている。

問 27 年度から取り組んでいる財政構造改革における税等（使用料・手数料など）の見直しの考え方は。

答 歳入の部分で 29 年度においては、さらに踏み込んだ形で検討しており、中でも施設の使用料の減免は、全体で約 2300 万円あり、内訳は約半分が市、残り 230 万円ほどが地域、470 万円ほどが各種団体となっている。

問 27 年度から取り組んでいる財政構造改革における税等（使用料・手数料など）の見直しの考え方は。

答 歳入の部分で 29 年度においては、さらに踏み込んだ形で検討しており、中でも施設の使用料の減免は、全体で約 2300 万円あり、内訳は約半分が市、残り 230 万円ほどが地域、470 万円ほどが各種団体となっている。

問 家庭ゴミの有料化とゴミの減量は。

答 ゴミの減量は、資源ごみのリサイクルも含めて考えなければならぬ。ゴミ処理の広域化もあり市民の皆さんと考える必要がある。また、固定資産税や法人税もさまざまな観点から調査研究している。

問 これからは、市民の皆さんとゴミ処理についてワークショップを開催し、さまざまな意見を伺い、検討していきたい。

問 29 年度当初予算案は、3 月 8 日、9 日、10 日、13 日、16 日の 5 日間に渡り審査を行いました。

問 審査の結果、一般会計 178 億 6 千万円、特別会計 112 億 1 千万円、総額 290 億 7 千万円の 29 年度当初予算案を採決し、可決しました。

問 今回、議会では審査に際し事前に協議を行い、議会報告会などで出された意見を参考に着目すべき市の課題を抽出し、その課題の解決に向けた視点を十分に踏まえて審査しました。どのような視点・内容で審査等したのかを詳しくお知らせします。

問 28 年と比較して、市民税の個人分が増加したのが内訳は。

答 給与所得 567 億円、2・6%の増、事業所得が 31 億円、専業農家の所得が 3 億 1 千万円と見込んでいます。

問 滞納繰越分の解消に向けた考えは。

答 徹底した調査と適正な滞納処分に対応している。28 年度の処分実績は、預貯金の差し押さえで 500 件あった。

問 創生事業をどのように見込んでいるのか。

答 「地域の元気づくり創生事業」「人口減少特別対策」に 3 億円弱を見込んでいる。

問 児童運営費の滞納繰越分の減額の要因は。

答 27、28 年度の収納率

問 陸上競技場の活用は。

答 サッカーの設備は整っており、今後ラグビーの設備整備なども考えている。トラックの全天候型整備は考えていない。

問 臨時財政対策債は今後も続くのか。

答 国の動向次第と考える。

問 27 年度から取り組んでいる財政構造改革における税等（使用料・手数料など）の見直しの考え方は。

答 歳入の部分で 29 年度においては、さらに踏み込んだ形で検討しており、中でも施設の使用料の減免は、全体で約 2300 万円あり、内訳は約半分が市、残り 230 万円ほどが地域、470 万円ほどが各種団体となっている。

問 家庭ゴミの有料化とゴミの減量は。

答 ゴミの減量は、資源ごみのリサイクルも含めて考えなければならぬ。ゴミ処理の広域化もあり市民の皆さんと考える必要がある。また、固定資産税や法人税もさまざまな観点から調査研究している。

問 これからは、市民の皆さんとゴミ処理についてワークショップを開催し、さまざまな意見を伺い、検討していきたい。

